

## <参考>

### 環境省のアホウドリ保護増殖事業の経緯

1981年(昭和56年)より、鳥島の燕崎でアホウドリの生息状況調査及び繁殖地の維持・保全事業を開始し、砂防工事、堆積土砂の除去及び植栽等を行って、繁殖成功率の向上に取り組んできた。

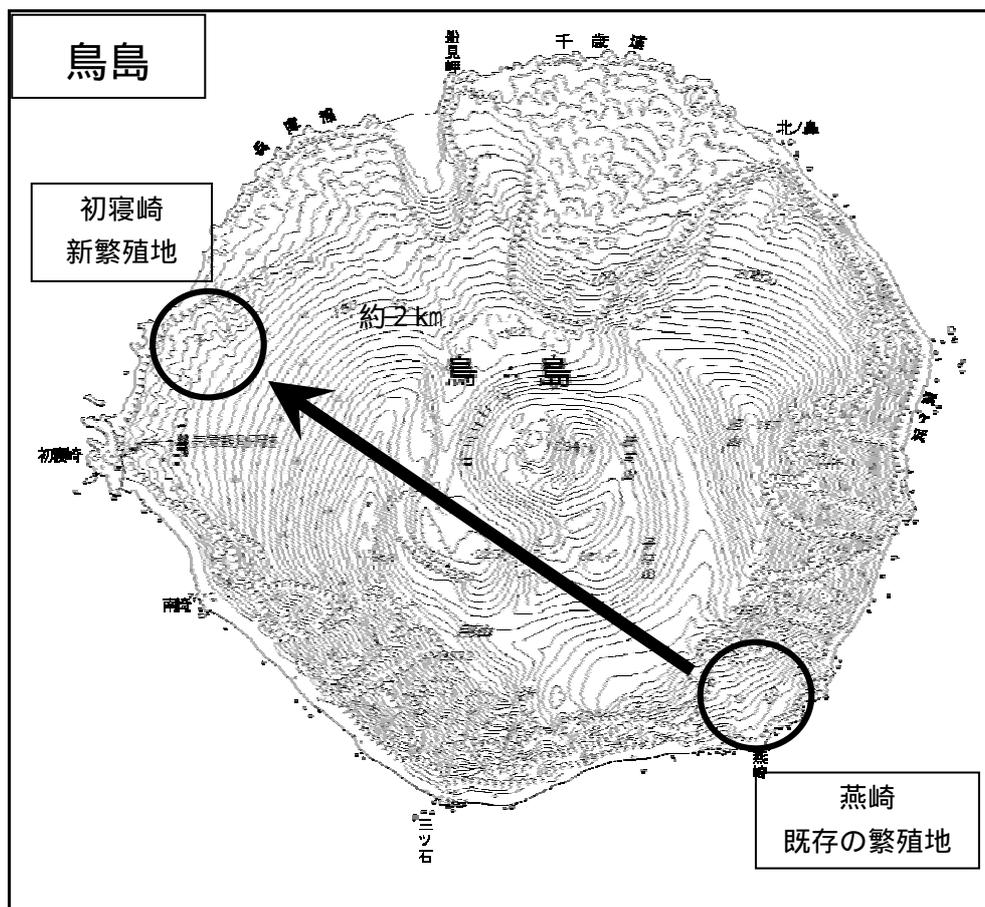
1993年(平成5年)には種の保存法に基づく国内希少野生動植物種に指定すると共に、保護増殖事業計画を策定し、燕崎に対して島の反対側に位置する緩斜面(初寝崎)に新たな繁殖地を形成するため、アホウドリのデコイ(模型)及びアホウドリの鳴き声を再生する装置を用いてアホウドリを誘導する事業を開始した。

1993年の推定個体数は約600羽であったが、事業開始後、アホウドリの個体数は順調に増加し、1999年には1000羽を超えた。

2005年の分科会では、新繁殖地(初寝崎)へのコロニー定着という大きな成果を得て、鳥島内の事業をモニタリングに移行する方針が了承された。

今年の8月には、鳥島事業のモニタリングへの移行と、小笠原群島に第3のコロニーを形成する内容を盛り込み、文部科学省、農林水産省、環境省の共同で新たな「アホウドリ保護増殖事業計画」を策定した。

### 鳥島の地図



### アホウドリ保護増殖分科会委員

小城 春雄	北海道大学 名誉教授
尾崎 清明	(財)山階鳥類研究所標識調査室 室長
長谷川 博	東邦大学理学部 教授
樋口 広芳(座長)	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

### アホウドリ保護増殖分科会の配布資料

9月12日の分科会での配布資料は以下のとおり。資料要求は担当までお願いします。

(その他鳥島内の写真等も電子データでお渡しできます。)

- 資料1 平成17年度アホウドリ保護増殖事業(概要)
- 資料2 平成17年度日米アホウドリ人工衛星追跡共同事業(概要)
- 資料3 今年度の鳥島内アホウドリ保護増殖事業の進め方について
- 資料5 小笠原事業現状報告
- 資料6 平成18年度日米アホウドリ衛星追跡調査について(分科会資料 6)
- 資料7 伊豆諸島鳥島におけるアホウドリの繁殖状況(分科会長谷川委員の資料)
- 参考資料 アホウドリ保護増殖事業計画(平成18年8月9日告示)

### **【関係連絡先】**

環境省関東地方環境事務所野生生物課	(048) 600-0817
(財)山階鳥類研究所	(04) 7182-1101